

平成29年度第3回新子どもかがやきプラン推進委員会の報告について

1 開催日時・場所

平成30年1月29日（月）10:00～12:00

於：岐阜県庁11階 教育委員会室

2 概要

平成29年3月に策定した「新子どもかがやきプラン」に基づく施策の進捗状況を確認し、平成30年度に取り組む施策を盛り込んだ「アクションプラン2018」について協議を行い、委員会としての案を決定した。

3 委員から出された主な意見

（1）可茂地域の高等特別支援学校整備について

- ・昨年度よりも高等特別支援学校への入学希望者が増え、ニーズは高まっている。早急に各地域に高等特別支援学校を整備していただきたい。
- ・子どもの数が年々減少する中で、県立学校の余裕教室を活用して高等特別支援学校を整備することは非常に合理的な方法である。

（2）高等学校における「少人数コミュニケーション講座」について

- ・少人数コミュニケーション講座においても、小中学校の通級のように、在籍校との連携は重要。在籍学級で、講座で学んだことをどう生かすかも重要である。

（3）病気やけがで入院している児童生徒の学習機会を保障するための体制整備について

- ・高等学校では、入院等により欠席数が規程を超えると単位を取得することができない。そのためにも、国の制度を活用して遠隔授業を導入することは効果的な支援であると考ええる。

（4）特別支援学校の学習環境整備について

- ・中濃特支、関特支の在り方について、今後の在籍人数の動向を見る必要がある。その上で、管理上の課題を考えていただきたい。寄宿舎については、皆が使えるような施設として、前向きな活用ができると良い。

（5）コア・スクールにおける取組の推進について

- ・地域の特別支援学校において、聴覚障がいなどの専門的な領域についてはコア・ティーチャーに来ていただいて指導助言を受けているので、そういった取組を充実させたい。